



昭和2年7月7日創立

世田谷区立東大原小学校

同窓会報

平成24年度 第1号
(平成24年7月発行)

発行所
世田谷区大原1-4-6
東大原小学校同窓会

発行人
宮川英子

「総会」ってなあに？

会長 宮川英子（十三回生）

今年も四月、春の日差しが穏やかな日に、平成二十四年定期総会を開くことができました。

その席上、新入会員の中学一年生から、表題の質問が出ました。質問をしていただいたこと、即ち、興味を持っていただけたことに、私は、素直に「ありがとうございます」と申しました。

「東大原小学校を卒業すると、同窓会に入会する」

このことは同窓会が会則で決めていることですが、卒業前に、直接話しかけて入会をお願いするというPRをしていませんでした。まして暫くぶりに母校を訪れ、旧友と再会する楽しい会だと思っていたのになんだかわからない議事を聞かされたら、「これ、なんなの」と思うのも無理ありません。総会後の理事会でこの点を反省し、今年からは学校にお願いして卒業前に、「同窓会とは・・・」とお話しする機会を持たせていただけようにしたと話し合いました。同窓会は、会員相互の親睦と、同窓生ならびに母校の発展を図ることを目的としています。

その目的を達成するために①会員名簿の作成および会報の発行②母校の教育環境の向上③会員の福利厚生のための事業④その他必要な事業を行っています。

お蔭様で近年、年会費を納めてくださる会員が増加し、ご厚志を寄せていただく方も多くなりました。

同窓会ではこの貴重な拠金を前掲の活動に生かしていきたいと願い、努力して参ります。

本年の総会では世界的ジャズピアニストとして名を馳せている山下洋輔さんがお話と演奏をしてくださいました。入学前に代田橋で戦災に遭い、一年生の時は焼



新入会員の皆さんと



成人会員の皆さんと

け残った校舎の二部授業でした。その後転居されましたが、東大原小を「お我が母校」とし、「担任の須田先生を今も慕っていらつしやる」とおつしやる山下さんの、深い愛情とやさしさのこもったたまなざしに触れることができて参会者一同心を打たれました。

一流の演奏会でしか聴けない素晴らしい演奏を、体育館のフロアで、手の届くような身近で堪能させていただいて、最高に幸せなひとときでした。

一二、一六〇名の同窓生の中には、きつと素晴らしい方がたくさんいらつしやることでしょう。私達同窓会は、是非その方たちのお力を借りたいと思います。

お知り合いの方を是非、ご紹介ください。

平成24年 定例総会議事内容

議案第1号

平成23年度事業報告 下記について報告。詳細は次ページ参照。

1. 会員名簿の作成及び会報の発行
2. 母校の教育環境の向上
3. 会員の福利厚生のための事業

議案第2号 平成23年度決算報告

収入の部				支出の部			
	予算額	決算額		予算額	決算額		決算額
会費収入	400,000	450,000	総会費	50,000	64,562		
新会員入会金	5,000	6,100	文具等消耗品費	100,000	108,301		
懇親会費	50,000	54,000	活動費	250,000	419,502		
名簿売上		500	通信費	280,000	339,424		
利息		117	会報費	300,000	279,720		
寄付金	600,000	763,780	振替負担費用	30,000	42,650		
記念誌販売		12,000					
当年度合計	1,055,000	1,286,497	当年度合計	1,010,000	1,254,159		
前年度繰越金	1,477,499	1,477,499	次年度繰越金	1,522,499	1,509,837		
合計	2,532,499	2,763,996	合計	2,532,499	2,763,996		

平成23年度監査報告

前期決算書類を慎重に監査した結果いずれも
適正且つ妥当なものと認めます。

平成24年4月1日 監事 礒 正格
吉田 赳
山縣 武夫

議案第3号 平成24年度事業計画

下記について報告。詳細は次ページ参照。

1. 会員名簿の作成及び会報の発行
2. 母校の教育環境の向上
3. 会員の福利厚生



宮川会長 野地理事 礒監事

議案第4号 平成24年度予算案

収入の部		24年度		23年度		支出の部		24年度		23年度	
	予算額		実績		実績		予算額		実績		実績
会費収入	400,000	450,000	総会費	70,000	64,562						
新会員入会金	5,000	6,100	文具等消耗品費	110,000	108,301						
懇親会費	60,000	54,000	活動費	330,000	419,502						
名簿売上		500	通信費	300,000	339,424						
利息		117	会報費	300,000	279,720						
寄付金	700,000	763,780	振替負担費用	40,000	42,650						
記念誌販売		12,000									
当年度合計	1,165,000	1,286,497	当年度合計	1,150,000	1,254,159						
前年度繰越金	1,509,837	1,477,499	次年度繰越金	1,524,837	1,509,837						
合計	2,674,837	2,763,996	合計	2,674,837	2,763,996						

参考資料

現行評議員

卒業回	氏名	卒業回	氏名	卒業回	氏名
2	岸田 義明	27	渡辺 翠	34	漆原 光一
12	岩下 秀男	29	杉田 浩	34	大岡 雅子
12	吉田 赳	29	重山 まこと	34	小山田 忠
13	宮川 英子	29	福士 木綿子	34	斎藤 耕一
15	礒 正格	31	岩本 照雄	35	関根 純一
17	大村 昭夫	32	小清水 和子	38	山中 一享
18	山縣 武夫	32	宮田 維久子	46	大木 弘人
24	野地 勝彰	33	梶川 照矩	47	窪田 賢雄
27	足立 遼三	33	神谷 良男	48	渡辺 明男
27	臼井 良雄	33	土田 真也	58	上原 謙介
27	大竹 英一	33	中村 清子	副校長	大橋 園子
27	富安 好恵	33	益井 純子		

名誉会長 東大原小学校校長 大野忠雄

参与 岸田義明(2回生)岩下秀男(12回生)

上記参与・役員を含む評議員は35名であります。

現行役員

会長 宮川 英子 (13回生)

名誉会長 現任母校校長 大野 忠雄

副会長 大村 昭夫 (17回生) 杉田 浩 (29回生)

理事 野地 勝彰 (24回生) 臼井 良雄 (27回生) 渡辺 翠 (27回生)
重山 まこと(29回生) 福士 木綿子(29回生) 小清水 和子(32回生)
宮田 維久子(32回生) 神谷 良男 (33回生) 梶川 照矩 (33回生)
益井 純子 (33回生) 土田 真也 (33回生) 斎藤 耕一 (34回生)
漆畑 光一 (34回生) 大岡 雅子 (34回生) 関根 純一 (35回生)
上原 謙介 (58回生) 大橋 園子 (特別会員 母校副校長)

監事 吉田 赳 (12回生) 礒 正格 (15回生) 山縣 武夫 (18回生)

四月十五日三時より母
校体育館に於いて同窓会
総会が開催されました。
一部では宮川会長の挨拶、
大野忠雄校長先生の挨拶
に続いて、新入会員(八十五
回生)の代表として登坂芽衣
さんと本多香奈さんの元気な
挨拶がありました。引き続き議
事に入り、引き続き議事に入
りました。議事の詳細は三
ページをご覧ください。引
続き来賓紹介、河野素子
PTA会長による来賓の代表
挨拶があり、全員起立して校
歌斉唱、総会議事を終了し
ました。

第二部では二十七回生にあ
たる山下洋輔さんのお話し、
即興演奏で感動の一時間で
した。その概要を四頁以降掲
載しました。どのくらいあの
時の興奮を伝えられるかは
心配ですが是非ご一読くださ
い。

終了後は第三部懇親会、皆
さん山下さんを囲んでグル
ープで写真を撮ったり二人
で並んで取ったり和気藹々
の時間、同窓会って素晴らしい
なと感じた一日でした。

今回の総会で同窓会は何をやっているのかわらなかつた。会報が送られてきてきて会費や寄付を集めているようだが、何のために使うお金なのかという質問がありました。それにお応えするべく平成二十三年度の主な活動と平成二十四年度の活動計画について書かせていただきます(金額は千円単位です)。

平成二十三年度の活動

(一) 会報の発行と送付

七月に千五百部、三月に三千五百部を発行し合計で二十八万円支出しました。(会報費)この内三千七百部を会員に送付し封筒代五万五千円(文具等消耗品費)、通信費として三十万円(通信費)かかりました。

(二) テントの寄贈

今年には母校創立八十五周年です。運動会などに使うテントが老朽化し、前年に一張り寄贈しましたが二十三年度も周年記念としてもう一張り寄贈しました。十七万円でした。(活動費)

(三) 同窓会文庫

同窓会文庫を創設し資料保管と学校の要望する図書を購入することにしました。最初の年なので書棚の購入と図書を八十七冊購入し総額九万三千円支出しました。(活動費)

(四) 義援金・協賛金

東日本大震災の義援金として三万円送りしました。その他下北沢一番街の阿波踊り、おやじの会主催の校庭一泊、アートプロジェクトけん玉ショーと江戸操り人形、遊び場開放委員会主宰もちつき大会、へそれぞれ協賛金として一万円支出しました。(合計七万円)活

動費)

(五) ホームページ(HP)の管理

同窓会員の会社に特別料金で月五千円年間六万円でお願ひしています。(活動費)

(六) 総会と懇親会

平成二十三年の総会は講師に北海道から来ていただきましたので交通費を一部負担しました。懇親会費と合わせて六万四千円かかりました。(総会費)

(七) エレクトーン寄贈

同窓生から母校にエレクトーンが寄贈されましたので運搬代金二万円を負担しました。(活動費)

この他費用の支出はありませんが、会員の親睦旅行、ゴルフ大会、くるみ学級もちつき会の手伝い、運動会や展覧会など学校や地域行事へ積極的に参加しています。

平成二十四年度の活動計画

(一) 会報の発行と送付

前年と同規模で三十万円の予算です。封筒代、通信費とも前年並みに予算化しています。(会報費)

(二) 創立八十五周年記念

前年のテントの他に今年は全生徒に名入れ鉛筆を贈呈します。予算は四万二千元。(活動費)

(三) 同窓会文庫

活動の大きな柱として今年には十万円を予算化しました。(活動費)

(四) 義援金・協賛金

総会での質疑で東日本大震災への義援金継続要望がありましたので実施する予定です。

その他は前年と同じに協賛します。(活動費)

(五) 総会と懇親会 HP

いずれも前年並みの予算です。(総会費・活動費)

総会風景



総会議事



新入会員代表花束贈呈



山下洋輔さん講演



全員起立して校歌斉唱

山下洋輔さんの講演・演奏

私は日本や外国の色々な場所でも多くの方の前でお話したり演奏する機会がありますが、今日のような場は初めてです。どうしたものか、しかも講演会と言われてしまっていますからね。演奏の公演会だと思ってください。私はやはり人の前で話すよりは、弾いてしまう方がとても気楽なのです。

ご紹介がありましたように、私は昭和二十三年にここ東大原小学校に入学しました。昭和二十三年と言うのは、本当に戦争が終わったばかりだったので。

こちら辺は焼け野原で、野っぱらの中に学校があるとと言う景色で、赤とんぼが飛んでいたという時代でした。小学一年生で入学した学校のことは一忘れません。

そして担任の先生がとってもきれいな女の先生で、須田先生とおっしゃいました。

さきほど展示中のアルバムで確認しましたら、やはり子供心に思った通りのきれいな方でした。先ほど紹介のあった日経新聞の『私の履歴書』にはつい筆がすべって「たちまち恋におちた」と書きましたが、担任の女の先生に男の子が恋



山下洋輔さん講演

心を抱くというのは当たり前ではないかと思えます。ここはそんな思い出のある学校で、私はこの辺を通るたんびに「東大原小学校は俺の小学校だ」ということをずっと想い続けてきたのです。日経新聞では、ようやくその想いを活字にすることができたのですが、そうしたらそれを目にとめて下さって、こうして今日私はここに居ることになりました。

ちなみに私は、一年しかここに在学しておりません。次に三鷹の小学校に転校し、更には父親が三井鉱山にいた関係で、九州の炭鉱町にまで転校しました。そして帰ってきて麻布中学、高校に入りました。

話す事は沢山ありますが、私は空襲を経験しているんです。昔、七十年以上も前に、アメリカと日本が戦争をしたのを知っていましたか？（笑い）

すごかったです。この辺にも飛行機から爆弾が落とされて、道の電柱が燃え上がったんです。そのなかを、お母さんに手をひかれて和田堀の水道局に逃げ込んだんです。大勢の人があそこに逃げて、身をひそめていたのです。電柱は燃え上がり、あたりは真っ赤で、上ではアメリカの爆撃機がいて、それを日本の飛行機がやつつけに行く、ということが実際に起きていたんです。代田橋に住んでいたのですが、その時代の思い出は、人生のなかでもひとときわくつきりとしております。

家にはピアノがあつて、クラシックだと思っておりますが、毎日のように母親がピアノを弾いていましたから、音楽には親しんでおりました。そのピアノを、僕は自分勝手に弾くということ

それがジャズになっていくのです。

近所の子がピアノを習いに来て、バイエルなんてやっていたのですが、僕はそれを聞いていて覚えてしまったて、それを勝手に弾いたんですね。そうしたら母親が喜んでしまつて、「今弾いたのはこういうものです」と言つて「楽譜」というものを持つてきたんです。僕は自分の耳で聴いて弾けているのに、またこれを見てなにか勉強しなければいけないのかと思つたら、子供心に大変嫌で「嫌です」と断つたことを覚えて

います。そのまま一生、耳で覚えた音を弾いていくことが出来るジャズという音楽をし続けることになりません。しかし、やがていずれは楽譜も読めなければいけないし、音楽の基礎がクラシックにあるということもだんだん分かつてきて、僕は大学は音楽学校に行きました。

音を弾くことが好きだから「じゃーなんだろ」と思つて逆に基礎を習つたという経緯があります。

最初から訳も分からず「これ大事だから覚えなさい」と言つても、なかなか子供は覚えません。

私の経験では、なにか好きなものを見つけてしまう。そうすると、その好きなものがどうしてこの世にあるのかということを知りたくなる。そうすると、必ず普遍的な基礎を学ぶということにたどり着く。私はむしろそういう考え方を人生でもしてきましたので、後輩たち、これから人生を生き続けたいという人々には「何か好きなものをみつけなさい」と言つていきます。

大事なことは、「好きなことは待つていては

現れません」ということです。「そのうち自分が好きなものが現われて一生それをやるのかな」と思っていますは駄目です。

この世の中には、ありとあらゆる面白いことがありますからね。その中から自分が面白いと思えるもの、これは好きになれると思ったもの、それを自分から決めるのです。無理でもないから決めるんです。僕の場合は、他人がやらないことをなにかやってやろうなんていう気持ちがありましたね。麻布高校なんか頭のいい奴がまわりにゴロゴロいましたから、「こいつらと勉強で戦っても負ける、だから俺はピアノをやる」なんて、そういうことを考えていました。

ですから、これから社会に出て行く、「総会とはなんだろう？」という素朴な疑問を持つ若い方々は、自分で何かをまず好きになっちゃえばいいんです。あとで「しまった」と思ったらやめればいいんですから。待っていても駄目です。「これを好きになるぞ」と思い定めて突き進んでください。

あまり慣れない所に立って、こちら側には私と同じ経験を積んだ方々がおられ、こちら側にはまったくまだ世の中にも出ていない可愛い子達がいるという場で、いったい私は何を話したらいいんだろうと思ひ、私の



山下さん語る子供時代

経験談を申し上げました。ではピアノを弾かせてください。

ジャズのスタンダードナンバーというのは沢山あるのですが、この曲もミュージカルの一つです。よつぽどジャズに詳しい方でないと知らないと思います。知らないでいいのです。

ジャズというのは、最初にメロディが出てきたら、それを自分で即興的にその場で創って弾く、というのがジャズの楽しさです。同じ曲をやっても「この人はこんな風にやった、この人はこんな風にやった」とその違いを楽しめる音楽というのは、今現在ジャズしか残っていないのです。昔はバツハでもベートーベンでもみんな即興をやっていました。この即興の楽しさと言うのは、また後で弾きながらお話しできると思いますが、

ではまず私がいつもソロコンサート最初に弾いています『I will remember me』、『四月の思い出』と訳されていますが、ちょうど今の季節の曲で、今日の思い出の為に弾きたいと思えます。『四月の思い出』を聞いてください。

『四月の思い出』演奏

最初に分かりやすく出てきたのがテーマです。その後は即興でやっていくのです。知らない曲をいきなりこうやって弾いて、分かって頂いたかどうか不安ですが、もう少し分かりやすくやってみましょう。

みなさん『スワニー河』というフォスターの曲をご存知ですか？今の子はどうか。僕らの年代はみんな知っている歌曲です。

誰でも知っている曲を何か面白くしてしまおう。自分が即興演奏をして自分の音楽にして

しまおう、それがジャズのやり方なんです。それをスワニー河という曲を例にしてやってみましょう。

このメロディーは、一度聴いたら覚えられる簡単なものなので、このメロディーと和音を使ってこの人は、こんなことをやっているんだなと聴いてください。

なにか集中的に若者の方を向いてしまいました。が、なにせこれからの人たちですからね。あ、すみません。こちら側は共に貴重な時間を過ごしてきた仲間です。(笑)

では聴いてください。スワニー河変奏曲ということになります。最初は原曲を弾いて、それから変奏曲を弾きましょう。

『スワニー河』演奏

これではちよつと退屈でしょう。ではこれを即興演奏で自分の演奏をしてみましよう。

『スワニー河変奏曲』演奏

こんな風にくらでも変えられます。明日弾くとまた違うんです。そして和音をもっとモダンにすることもできます。今のやりかたは、ちよつと古いジャズのやり方なんです。昔やっていたデキシーランドとかスウィングジャズ、そういうスタイルでやってみました。

何故こういう風になるか、ここでちよつとジャズ入門講座みたいなことをやってみたいと思います。

音楽の要素は無理やり分解しますと、リズムとメロディーと和音だといえますね。そして、これに音色というものが加わらなければ完全ではありません。音色は本当に一人一人によって違います。そこがその人の魅力です。同

じピアノという楽器で、押せばハンマーが弦を叩いて音を出す、本当に即物的な楽器なんです。誰が弾いても全部音が違います。実に不思議なんです。タツチの速さだと言う人もいるし、途中から何か早くなるやり方とか、ゆっくり押しているかどうかだ、と言う人もいますし、弾く人の骨の作りの差が出るのだと言っている人もいます。

今日は、特にメロディーについて語ってみたいと思います。メロディと和音とリズムを変えればジャズになっていきます。ジャズ風に変えて行けばいいのです。今やった中ですごく特徴的な音が出てきたでしょう？

(ピアノを弾きながら)こんな音を使うとジャズっぽくなるのです。(ピアノを弾きながら)こんな風に節を弾くと、これはブルースの節と言われます。

そもそもジャズと言うものは、新大陸アメリカで出来たのですが、これはヨーロッパから来た人たちだけでは出来なかったのです。そこにアフリカの黒人達が奴隷として連れてこられた。とても不幸な歴史なんです。これがあつたために、人類にジャズという素晴らしい贈り物がもたらされることになるのです。アフリカの人は



熱演する山下さん。肘打ちも。

ちが新大陸に連れて来られて、自分たちも歌を歌いたい。音楽をやりたい。これは人間として当然の欲求ですが、それがままにならない。アフリカの音楽は、まず打楽器がなければ成り立たない。

それから全ての音楽が、何かのお祭りとか意味のある行事と関係していますからね。その基盤が無い所に連れて来られて、何をするか、これが大問題なのです。

特に北米では打楽器が禁じられました。打楽器を気晴らしにアフリカの人たちが夜中に叩いたりするのが実に不気味なんでしょう。反抗の象徴みたいに聞こえてきたのでしょうか。

ところが南米では、ラテン系の人たち、ブラジルではポルトガル人ですが、彼らは打楽器を禁じなかったのです。ですから未だに打楽器の文化が根付いて、アフリカから来たそのままではありませんが、残って、例えばサンバという文化になっているわけです。

北アメリカではどうなったかといいますが、黒人奴隷でも白人たちの家に住み込んで、同じような生活をしながらお手伝いをする人が出て来るのですが、その人たちがご主人様が行く教会に一緒に行くようになったり、家でピアノを弾いたり讚美歌を歌ったりするのに触れて、たちまちそれをマスターしていくということが起きてきます。

で、それを歌ってみる。そうするとどうしてもアフリカ人ですからね、音を自分流に変えてしまうということが起きたようです。ですから、西洋風の(ピアノを弾く)こういうクラシックの音に当てはまらない妙な節の音を歌ってしまう。(ピアノを弾く)このミの音やソの音もど

うしても半音下げたがるのです。

こうなのがブルースの節なのです。この節がだんだん定着してきました。今度は白人たちが面白がってこの節を使うようになるのです。ジャズというのは、白人が作ったというものでもないし、黒人だけが作ったというものでもない、両方が混じって、それがアメリカで起きたというのは大きな奇跡だと私は思っています。ジャズはこのブルースの節の上に乗るんですが、実際に西洋音楽的な理論で見ると、めっちゃめっちゃなんです。でも成り立ちます。

この現象(ピアノを弾きながら)音が当たっていますね、この面白さに気付いて作曲をしたアメリカ人がいます。ジョージ・ガーシュインという作曲家が作った『ラプソディ・イン・ブルー』という曲です。最近では、のだめカンタービレで使われましたから、若い人たちも知っているかもしれませぬ。一部を弾いてみましょう。

—『ラプソディ・イン・ブルー』演奏—

以下のお話はページの都合上省略させていただきます。ただききましたが、その後も『サクラ変奏曲』『仙波山』『ボレロ変奏曲』を演奏頂き皆さん感動の一時間でした。最後に新入会員の代表二人から花束贈呈があり、大喝采のもと講演会は終了いたしました。

お忙しい中、講演を快諾くださり素晴らしいお話、演奏をして下さった山下さんに感謝いたします。

平成23年2月から平成24年5月31日までの間に会費・寄付を頂いた方々(数字は卒業回数、Tは学校関係者)

2	岸田	義明	15	足立	龍彦	23	牧野	純一	27	多則	央保	30	河村	政隆	35	開根	純一
7	中島	大壽	16	山篠	武利	23	秋間	道俊	27	杉浦	保彰	31	岸本	哲義	35	伊藤	彰康
10	川中	藤島	16	永上	弘潤	23	阪本	俊秀	27	尾村	彰敬	31	白鳥	義和	35	大永	二恵
10	佐藤	宅喜	16	石上	悦子	23	高橋	秀子	27	香中	敬子	31	藤上	嘉純	35	添田	田美
10	朝倉	倉喜	16	平大	昭由	23	佐藤	孝子	27	若杉	朝子	31	藤加	純江	35	羽田	愛子
11	板橋	啓勅	17	大下	夫之	23	今南	敬幹	27	渡辺	翠子	31	岡好	智功	35	市前	川子
11	渡邊	朔郎	17	曾山	由優	23	阿名	耶昌	27	町植	和子	31	三好	吟瑋	35	小加	優子
11	篠田	行一	17	山本	久四郎	24	永星	佳彦	27	足立	三博	31	石谷	清瑋	35	萩原	百合
11	嶋原	新ふ	17	中山	四三	24	後藤	健勝	27	荒吉	善英	31	石宮	宗雄	36	丹羽	絹江
11	植原	美ミ	17	山岩	三彦	24	早深	健勝	27	赤井	善英	31	宮越	寛也	36	吉山	喜雅
11	上甲	ミドリ	17	山本	倫久	24	野地	勝優	27	飯藤	英充	31	舞木	寛也	36	福井	節子
11	安石	久子	17	橋島	昭俊	24	荒澤	江子	27	渡部	修一	31	井本	寛也	37	井上	明次
11	船木	良子	17	室山	紀子	24	福土	京子	27	上條	和子	31	田中	清美	37	関孝	和彦
11	青井	文子	17	小高	宣美	24	青島	木郎	27	上島	吉治	31	川藤	美一	37	中川	恒敏
11	穴崎	敏喜	17	高野	宣典	25	島谷	勝正	27	五大	睦正	32	藤掛	敏一	37	金井	文正
11	山中	喜久	17	内野	典精	25	廣瀬	正俊	27	鳥居	晏道	32	新中	光敏	37	降田	淑市
12	松元	正弘	18	菊田	芳郎	25	千岩	敏之	27	森野	晏道	32	伊藤	雅知	37	柴山	淑一
12	若加	秀信	18	酒須	一郎	25	岩崎	敏之	27	龜田	道一	32	中伊	知子	37	石山	恭一
12	吉田	二郎	18	須平	郎男	25	渡辺	孝子	27	原海	英秀	32	増川	桂純	37	山川	千一
12	小美	昭雄	18	丸山	アヤ	26	新居	延夫	27	老田	秀子	32	竹内	千鶴	38	阿加	亨子
12	岡濃	正雄	18	江里	弘代	26	菅沼	浩男	27	岩泉	智久	32	神田	清和	38	加中	正毅
12	渡辺	潤一	18	大島	津夫	26	堀持	雅清	27	寺嶋	美智	32	土井	吉子	39	佐野	修力
12	西脇	美子	18	山小	和子	26	川本	正夫	27	嶋美	智久	32	木坂	明久	39	西尾	ゆかり
12	寛谷	美太郎	18	小尾	樹徳	26	益津	マツ	27	山廣	洋輔	32	内山	政隆	39	藤原	英千
13	高見	沢裕	18	花田	樹子	26	谷津	公子	28	伊藤	隆純	32	川島	邦早	39	美田	千鶴
13	伊藤	昭昌	18	伊藤	達子	26	森田	洋幸	28	井上	純一	32	行藤	保苗	40	田端	是く
13	澤渡	俊男	18	田部	勝一	26	岡崎	孝子	28	阿部	完二	32	鈴宮	久代	40	清水	くみ
13	吉大	一太郎	19	老川	芳昭	26	佐藤	強子	28	陰藤	実祐	32	石丸	和子	40	西野	由雄
13	大村	一郎	19	安藤	猛夫	26	福田	光喜	28	森加	祐泰	32	川丸	邦澄	41	牧野	誠洋
13	三宅	雅彦	19	下戸	貞子	26	小泉	真信	29	杉山	弘次	33	青川	澄江	41	永谷	一鶴
13	山崎	成子	19	乾野	幸子	26	赤仲	幹雄	29	中野	孟次	33	川口	誠一	42	沢木	延生
13	立宮	英昭	20	大河	秋郎	26	山崎	正敏	29	宮村	昌江	33	堀江	敬一	42	藤森	嘉孝
13	金刺	昭子	20	野島	照郎	26	中山	正昭	29	川村	弘子	33	足川	百合	43	萩谷	己子
13	藤平	千恵	20	橋本	文男	26	小上	尚秋	29	神村	綿子	33	川端	晋一	44	小山	和夫
13	武田	昭子	20	高野	美昭	26	石井	俊男	29	黒坂	千和	33	鈴木	洋一	44	永渡	明志
13	山福	京子	20	上村	眞也	26	坊高	光志	29	藤河	郁子	33	神谷	佳彦	48	田金	賢三
14	土肥	武典	20	中志	原保	26	高橋	英夫	29	大矢	四十六	33	飯田	朗弘	49	田賀	光彦
14	山鈴	友次	21	伊庭	初美	26	三橋	直樹	29	山口	利子	33	向原	春樹	51	増田	洋二
14	依田	孝治	21	所鈴	福子	26	福岡	昌美	29	大倉	世子	33	向原	純子	53	志賀	嘉美
14	向品	美子	21	志賀	芙子	27	福大	八郎	29	江口	成子	33	工藤	良子	57	瀬井	優美
14	三木	京子	21	春高	比子	27	桶山	哲四郎	29	小野	靖子	33	樋口	和子	58	本野	地子
14	城藤	富子	21	高小	良俊	27	石田	次郎	29	佐藤	亮子	33	澤野	美和	61	中木	隆明
14	藤脇	雄一郎	21	小石	富高	27	高橋	修三	29	永加	純子	33	野橋	本夫	71	降中	野明
15	潮田	健一	22	小林	宏高	27	白鈴	良子	29	日松	美子	33	福本	真也	73	野旗	俊明
15	佐戸	實兼	22	佐々	陽子	27	佐々	木洋子	29	土屋	典子	33	西岡	万和	77	降野	忠雄
15	今井	正介	22	高橋	昌子	27	高橋	喜美子	29	土手	武子	34	古井	均江	T	大河	素隆
15	大矢	俊夫	22	西川	彦夫	27	浅沼	三子	30	手玉	昭夫	34	井上	伸光	T	吉望	隆稔
15	宇野	誠二	22	張富	士子	27	丸山	章子	30	伊藤	正敏	34	今漆	一夫	T	吉望	隆稔
15	野平	重格	22	関美	津子	27	清水	悦美	30	流石	治子	34	廣田	一忠	T	手玉	久江
15	磯加	洋稔	22	西岡	巖み	27	桑高	俊之	30	水野	修子	34	廣田	一忠	T	手玉	久江
15	小澤	茂子	22	園田	博弘	27	豊田	融一	30	石井	悟直	34	内川	雅子	T	手玉	久江
15	小林	友子	23	増田	弘夫	27	永野	勝一	30	南津	三子	34	小川	よし	T	手玉	久江
15	森田	裕子	23	吉太	夫美	27	水大	宏英	30	依泉	重彦	34	岡村	洋三	T	手玉	久江
15	大野	喜代	23	太徳	山壽	27	岡宮	匡守	30	海野	彦一	34	谷相	三千	T	手玉	久江
15	坂岩	富乃	23	村大	大章	27	宮大	久雄	30	諸松	治軍	34	村居	洋子	T	手玉	久江



山下洋輔さん同期との語らい



13回生の皆さんと山下さん



34回生の皆さんと山下さん



33回生の皆さんと山下さん



昔の地図や写真を楽しむ山下さん



27回生の同期生と山下さん



同窓会役員の方々と山下さん



久しぶりの再会の皆さんと山下さん

編集後記

今年の総会は、有名な山下洋輔さんに来ていただいたこともあり、三百人近い方々が集まり大盛況でした。懇親会では何十年振りかに来られた方が、自分の同期生、同級生を探して、司会者のマイクを借りて呼び掛ける姿が沢山見られ、再会を子供のように喜び合っている姿も沢山見ることが出来ました。

小学校の友人っていいですね。何の利害もなくただひたすらに懐かしく、そして会って数分もするとあの頃の小学生に自分も相手も戻ってしまうのです。

魅力ある総会を開き、多くの会員の方々に集まっていたくことの重要性とお世話する楽しさを、改めて感じました。(臼井)

同窓会への連絡、問い合わせ、
寄稿の送付、送金の方法について

現在の事務局の住所は左記のとおりです。
連絡は郵便かFAXでお願いいたします。

郵便番号 一五五・〇〇三二
世田谷区北沢二丁目三五・九
清水ビル5F
東大原小学校同窓会事務局
FAX 03-54454-5356

本同窓会は政治・宗教・思想について
中立を守ります